

景気の動き

四 国（管内経済情勢報告・四国財務局）

項 目	10月判断	前回（7月判断）
総括判断	緩やかに持ち直している	同左
個人消費	緩やかに持ち直している	同左
生産活動	弱含んでいる	一進一退の状況にある
雇用情勢	緩やかに持ち直している	同左
公共事業	前年度を上回っている	同左
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている
設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	同左
企業収益	7年度は減益見込み	同左
企業の景況感	「下降」超	同左

〔四国財務局 2025年11月6日発表〕

全 国（月例経済報告・内閣府）

項 目	11月月例	10月月例
基調判断	景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。 <div>（先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。）</div>	同左
個人消費	持ち直しの動きがみられる	同左
設備投資	緩やかに持ち直している	同左
住宅建設	弱含んでいる	このところ弱含んでいる
公共投資	堅調に推移している	同左
輸出入	輸出	おおむね横ばいとなっている
	輸入	おおむね横ばいとなっている
	貿易・サービス収支	赤字となっている
生産	横ばいとなっている	同左
企業	収益	米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられる中で、改善に足踏みがみられる
	業況判断	おおむね横ばいとなっている
	倒産件数	このところ増加がみられる
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左
物 価	国内企業物価	このところ緩やかに上昇している
	消費者物価	上昇している

〔内閣府 2025年11月26日発表〕